

## 就職活動を終えて



櫻井 克さん(2021年理工学部卒業)  
▶就職先:住友金属鉱山株式会社

私は就職活動をする中で、仕事のスケールの大きさ、その中で特に自分の仕事や世の中と与える影響力を大事にしていました。そのため、非鉄金属という幅広い分野で用いられる業界において、川上から川下までの製品群を保有している住友金属鉱山株式会社に魅力を感じ、就職先として選びました。

就職活動は、3年次の6月から夏期インターンシップへの応募を皮切りに開始しました。複数社のインターンシップに参加することで早期選考のお誘いなどがあり、本選考の対策は11月ごろから始めました。1、2年次の時から、どの業界に進んでも自身の専攻である電気系を役立てられるように、日々の学習の定着を意識していました。

実際の選考では、面接が複数回あり、その間に「入社後の成長とどのように貢献していきたいか」という小論文を書く機会がありました。事前に内容が知らされていたので、就職キャリア支援センターの方と相

談しながら、構成や内容などを精査してもらい、どのように書くのかを指導してもらいました。

就職キャリア支援センターではそのほかにも、エントリーシートの添削や面接におけるマナー、面接対策、内々定後の対応など、就職活動全般においてとてもお世話になりました。特に面接時の話し方について、自分の雰囲気や合った話し方をするべきというアドバイスはありがたかったです。また、先輩方の就職活動体験記を閲覧できたことで、筆記試験の内容や面接の質問内容などがある程度想定して練習や学習をすることができました。

また、就職先の企業ではないのですが、OBの方が大学に来校した際に、実際の仕事や職場の雰囲気の話を聞くことができました。希望職種にOB・OGの方がいなかったとしても、同期入社の方な

どを紹介していただけるともあるので、積極的に連絡を取ると良いと思います。

就職活動はいつ動き始めるかで、得られる情報に差が出ると感じました。早期に動くことで、就活生同士の交流を通して自身では得ることができなかった情報や、企業からの早期選考などの情報を得ることができます。志望する業界が固まっている人はもちろん、固まっていない人でもインターンシップやOB・OG訪問を積極的に行うことでアドバンテージを得ることが大事です。



就職活動中に使用した手帳は5冊にもなった

## 「コツコツ挑戦」が実を結んだ就職活動



祖川 満里奈さん(2021年商学部卒業)  
▶就職先:東日本電信電話株式会社

私が就職活動を意識したのは、大学2年次の秋からです。高校卒業後、2年間の浪人生活を経て大学に入学したため、人一倍早く動き出した方がいいと考えていたからです。雑誌のオンライン書店を運営する会社に長期インターン生として勤務し、営業同行や新サービス立案といった実務経験を積んでいきました。早めに就職活動を意識していたおかげで、志望業界や業種を効率よく定めることができました。

大学3年次の4月〜9月に夏期インターンに参加し、10月には志望業界や企業を固めました。11月〜大学4年次の1月まではOB・OG訪問や冬期インターンの参加に専念し、2月からはエントリーシートの完成度を高めていきました。夏期インターンに参加したことで志望度も高まり、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)の本選考に参加する形となりました。

NTT東日本に就職することを決めたのは、就職活動で大切にし

ていた「生活の基盤の基盤を支える」という軸に最も合致したからです。他の業界も考えていましたが、コロナウイルスの影響で自分の生活も変化する中、通信環境を整え、活用していく責任の大きさを強く実感しました。

就職キャリア支援センターでは、主にエントリーシート内容の添削や模擬面接を行っていただきました。本番で面接をしていただく方は自分のことを全く知らない社会人の方なので、センターの職員の方からの客観的なアドバイスが非常に参考になりました。また、大



長期インターン先で打ち合わせに参加している様子

学から配付される「就職活動手帳」や「キャリア手帳」には就職活動のヒントがたくさん詰まっていたので常に持ち歩いていました。

また、就職先の方ではないのですが、商学部卒のOBの方に大変お世話になりました。私が将来本当はどうなりたのかを聞いてくださり、そのために今取るべき行動を丁寧に教えていただきました。

OB訪問後もメールで相談に乗っていただけだったので、不安を抱え込むことなく前に進めました。

後輩の皆さんにはぜひ、「人に頼り、頼られる」ことで就職活動を乗り越えていただきたいです。今後何が起こるか分からない状況下で、全てを自分一人で行うのは心身ともにつらくなってしまおうと思います。友人、大学の職員の方やご両親に頼ることで長い就職活動を元気に乗り越えることができそうですし、協力いただいた分、自分も誰かの力になれるよう意識することで、更に成長できると思います。

## 多くの方々のおかげで 乗り越えられた公務員試験

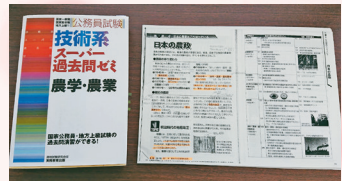
大沼 愛美さん(2021年農学部卒業)  
▶就職先:農林水産省



筆記試験は本来6月中旬に行われますが、今年は新型コロナウイルスの影響で試験が延期され8月に行われました。9月上旬には筆記試験の合格発表、そして官庁訪問がありま



キャリアセンター主催の業務説明会に参加した際に頂いた資料。面接時にも持参し、最後まで重宝しました。



専門科目(農学)の試験勉強に用いた問題集とプリント。問題集は5~6回繰り返し解きました。

私は大学1、2年次の頃から公務員志望だったため、専門科目に必要な科目は全て大学の授業を受講し、勉強をしていました。本格的な就職活動を始めたのは大学3年次で、前述の通り公務員講座を受講し、夏には公務員のインターンシップに2つ参加しました。インターンシップでは詳細な業務内容の理解ができました。

大学で学んだ農学の知識を生かして、多くの方々役に立つ仕事がしたいという思いから農林水産省への入省を決めました。自分の仕事で国内外に大きな影響を与えることができる業務内容のスケールの大きさに魅力を感じたことも理由のひとつです。また、内定後にわかったため、事前にお会いすることはできませんでしたが、職員の名簿に明治大学出身の方が多くいらつしやう、嬉しさや安心感がありました。

就職キャリア支援センターで頑張ってください。ご家族の皆様へ、家族が応援してくれることが何よりも嬉しいことです。お子さんを信じて最後まで一番の味方でいてください。最後に、今まで支えてくれた就職キャリア支援センターの方々、家族、そして全ての方々々に感謝申し上げます。

私は大学1、2年次の頃から公務員志望だったため、専門科目に必要な科目は全て大学の授業を受講し、勉強をしていました。本格的な就職活動を始めたのは大学3年次で、前述の通り公務員講座を受講し、夏には公務員のインターンシップに2つ参加しました。インターンシップでは詳細な業務内容の理解ができました。

最終面接は10月中旬にあり内定を頂きました。大学で学んだ農学の知識を生かして、多くの方々役に立つ仕事がしたいという思いから農林水産省への入省を決めました。自分の仕事で国内外に大きな影響を与えることができる業務内容のスケールの大きさに魅力を感じたことも理由のひとつです。また、内定後にわかったため、事前にお会いすることはできませんでしたが、職員の名簿に明治大学出身の方が多くいらつしやう、嬉しさや安心感がありました。

後輩の皆さんへ、コロナ禍での就職活動はつらいことも多いと思います。しかし、自分の軸をしっかり持って諦めずに最後まで努力すれば、必ず良い結果が待っています。目標に向かって最後まで頑張ってください。ご家族の皆様へ、家族が応援してくれることが何よりも嬉しいことです。お子さんを信じて最後まで一番の味方でいてください。最後に、今まで支えてくれた就職キャリア支援センターの方々、家族、そして全ての方々々に感謝申し上げます。

## Meijiだからできた コロナ禍での挑戦

鈴木 勝己さん(2021年法学部卒業)  
▶就職先:東京都



公務員試験対策は、大学1年次から明治大学の国家試験指導センター「行政研究所」に入所し、コツコツと学習していました。大学2年次の長期休暇では、大学が募集していた市役所のインターンシップや、県庁の事務アルバイトに挑戦し経験を積みました。大学3年次から本格的に勉強を始め、直前期は毎日10時間以上勉強することを心掛けていました。面接対策は、行政研究所の先生や友人とZoomを活用しながら行いました。民間企業への就職活動については、大学3年次の夏から冬にかけて

で、インターンシップに計30社ほど参加しました。また就職活動が解禁される3月までに、学チカ(学生時代に力を入れたこと)や自己分析、受ける業界の分析、テストセンター対策、OB・OG訪問を活用した面接対策などを行いました。就職活動を本格的に始めたのは、大学3年次の6月からです。企業のインターンシップエントリーに合わせて始めました。

皆さんもコロナ禍で厳しい状況だと思いますが、新しい挑戦や何かひとつの事に熱中してほしいです。きっと皆さんの力になります。また就職活動を一人で行うのは非常にきついものです。大学の友人や就職キャリア支援センターの方などにたくさん頼って、乗り越えてください。皆さんが望む進路に進める事を強く応援しています。頑張れ！明大生！！

公務員試験対策は、大学1年次から明治大学の国家試験指導センター「行政研究所」に入所し、コツコツと学習していました。大学2年次の長期休暇では、大学が募集していた市役所のインターンシップや、県庁の事務アルバイトに挑戦し経験を積みました。大学3年次から本格的に勉強を始め、直前期は毎日10時間以上勉強することを心掛けていました。面接対策は、行政研究所の先生や友人とZoomを活用しながら行いました。民間企業への就職活動については、大学3年次の夏から冬にかけて

で、インターンシップに計30社ほど参加しました。また就職活動が解禁される3月までに、学チカ(学生時代に力を入れたこと)や自己分析、受ける業界の分析、テストセンター対策、OB・OG訪問を活用した面接対策などを行いました。就職活動を本格的に始めたのは、大学3年次の6月からです。企業のインターンシップエントリーに合わせて始めました。

皆さんもコロナ禍で厳しい状況だと思いますが、新しい挑戦や何かひとつの事に熱中してほしいです。きっと皆さんの力になります。また就職活動を一人で行うのは非常にきついものです。大学の友人や就職キャリア支援センターの方などにたくさん頼って、乗り越えてください。皆さんが望む進路に進める事を強く応援しています。頑張れ！明大生！！



就職活動で使い込んだ書籍たち